

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部では、アフリカ各国に関連するビジネス・ニュースに加え、民間セクター及び関係機関に有益と思われるトピックをまとめたアフリカ経済月報を配信しております。ビジネス・トレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、または進出を検討している方々のお役に立てればと思っております。また、当代表部ではウェブサイトに加えて、以下のX(旧 twitter)のアカウントでも情報を発信しておりますので、フォロー及び拡散いただけますと幸いです。

ブンディブギョ型エボラ出血熱がコンゴ民主共和国東部のイトゥリ州を中心に発生し、隣国ウガンダにも感染が広がっています。先月日本は、両国での感染拡大防止に対応するため、国際機関(国連児童基金(UNICEF)、世界食糧計画(WFP)及び国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC))を通じて総額3.5百万米ドルの緊急無償資金協力を実施しました。現地の保健、水・衛生分野等の人道支援を進めていきます。

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【ケニア】中国と12億米ドルの空港拡張契約を締結

ケニア政府は、ナイロビのジョモ・ケニヤッタ国際空港を拡張するため、中国路橋工程有限责任公司と12億米ドルの契約を締結。アフリカ貿易開発銀行(ATDB)とアフリカ金融公社(AFC)が、主にこのプロジェクトの資金調達を担い、同空港の年間旅客処理能力を2,200万人にまで拡大する計画で、新しい旅客ターミナルの建設に加え、既存の滑走路およびエプロンの改修が含まれている。

<https://www.africanews.com/2026/06/24/nairobi-signs-12-billion-airport-expansion-deal-with-china-road-and-bridge-corp/>

(2)【ケニア】ロシアのケニア向け小麦輸出好調

ケニアは今年5月までに、約140万トンのロシア産小麦を輸入した。これは前年を大きく上回り、ロシア産のシェアが上がってきている。アフリカの食料サプライチェーンにおける、同国の影響は高まっており、その背景として多くの国がインフレ、食料安全保障への懸念、輸入代金高騰に苦しんでいることが挙げられる。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/russias-wheat-exports-to-kenya-hits-5-year-high-as-africas-demand-surges/cxqz7t4>

(3)【タンザニア】総合工業団地開発に伴い、15億米ドル規模の投資を誘致

中国・宏旺集団(HONGWANG)の子会社HWTZが、タンザニアのバガモヨ・エコ・マリン・シティ(BEMC)プロジェクトサイトにおいて500ヘクタールの総合工業団地の開発を予定している。当初の総投資額は15億米ドルを想定しているが、今後追加で150社以上の入居企業が

ら累計30億米ドルを呼び込むとしている。国内の若者向けに5,000件以上の直接雇用を創出し、完成後は、東アフリカ最大の工業団地となる。

<https://allafrica.com/stories/202606040330.html>

(4)【ウガンダ】デジタル決済の拡大と現金利用の制限

ウガンダは、国内のデジタル決済額が年間約1千億米ドルを超えたことを受け、現金引き出しや小切手取引に厳しい制限を導入し、キャッシュレス経済に向けたこれまでで最も大胆な措置の一つを講じている。これらの措置により、より透明性の高い「デジタルファースト」の金融システムを強く推進する方針。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/uganda-is-making-it-harder-to-use-cash-as-digital-payments-top-dollar100-billion/1gg123h>

(5)【ウガンダ】アフリカ開発銀行、鉄道プロジェクトへの資金提供を約束

アフリカ開発銀行(AfDB)のアブドゥル・カマラ副総裁は、ウガンダの標準軌鉄道(SGR)プロジェクトへの資金提供を約束した。約2.4兆ウガンダ・シリング(約665百万米ドル)が、マラバからカンパラまでの326kmを結ぶ標準軌鉄道の建設資金として提供されると述べた。

<https://allafrica.com/stories/202606010172.html>

■西部アフリカ

(6)【ガーナ】現代自動車が西アフリカの工場建設地としてガーナを選定

現代自動車の西アフリカにおける自動車製造工場が、ガーナに設立される見通しとなった。この合意は、今年6月に韓国ソウルで開催された「2026年韓国・アフリカ外相会議」の後に発表された。両国は、人工知能、エネルギー、重要鉱物、農業技術分野でも提携を推進している。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/africas-industrial-push-gets-major-boost-as-hyundai-chooses-ghana-for-west-african/n4bm93e>

(7)【ギニア】シマンドゥ鉄鉱石プロジェクト、輸出が急増

ギニア最大の鉱山プロジェクトであるシマンドゥ鉄鉱石プロジェクトは、昨年末より鉄鉱石の輸出を開始したが、この半年で輸出量が急増した。特に4-5月での伸びは顕著で、130万トン/月から220万トン/月へと急増。この背景として、価格優位性と品質の良さから中国からの強い需要に支えられたことが挙げられる。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/guineas-dollar23-billion-simandou-iron-ore-project-sees-exports-surge-six-months/j8rtw40>

■南部アフリカ

(8)【モザンビーク】鉱業への統制を強化し、国による出資義務と現地加工を規定

モザンビークのチャポ大統領は、すべての鉱業事業において国が15%の株式保有をすること、また鉱物の現地加工を義務付けることを規定する新法に署名した。この動きは、電池材料への需要が高まる中、同国の資源保護と統制を目的に進められた。

<https://www.miningweekly.com/article/mozambique-tightens-grip-on-mining-with-15-state-stake-rule-local-processing-2026-06-04>

(9)【ナミビア】政府が電気自動車充電ステーションのパイロット事業を開始

ナミビア政府は、全国的な充電ネットワークの実現可能性を評価することを目的としたパイロット事業の一環として、ウイントフックの公共事業・運輸省本部に電気自動車(EV)用充電ステーションを設置した。ウイントフックにおいて電気自動車の数が増加していることからこの取り組みが進められた。

<https://allafrica.com/stories/202606050019.html>

(10)【ボツワナ】ドバイ・アルバッド・グループとスマートシティ開発契約を締結

ボツワナ政府は、首都ハボローネのシリツィ・カーマ国際空港周辺に建設中の大規模スマートシティ、ニュー・ボツワナ・シティの開発について、ドバイに拠点を置くアルバッド・グループと20億ドル米規模の契約を締結した。

<https://www.intellinews.com/botswana-signs-2bn-deal-with-dubai-firm-albaddad-group-for-new-mixed-use-city-447192/>

(11)【ザンビア】ザンビア電力供給公社、グーリ火力発電所の進捗を評価

ザンビア電力供給公社(ZESCO)は、発電容量の拡大、送電網の安定性の強化、電力供給の信頼性向上に向けた取り組みの一環として、国内の主要なエネルギー・インフラ・プロジェクトへの現地視察を強化している。その中でも主要なグーリ火力発電所が、2026年12月までに第1フェーズにおいて2基のユニットを通じて135MWを発電する見込みである。

<https://www.lusakatimes.com/2026/06/19/zesco-commends-progress-on-gouli-thermal-power-plant/>

■北部アフリカ

(12)【モロッコ】アフリカ最大の自動車生産拠点がEVを巡る係争地に

中国はモロッコへの自動車関連産業への投資を急速に拡大し、工業団地や大規模なバッテリー工場を建設することで、EVの生産・供給拠点化を進めている。これまで累計60億米ドルの投資を行ってきており、2026年末までに年間50万台を供給可能なサプライチェーンを構築中。EUとモロッコは FTA を結んでおり、中国がモロッコを経由して最小限の加工を施した部品を関税なしで欧州へ輸出し、中国製EVへの高関税を回避するルートとしての利用可能性が懸念されている。これに対し、モロッコ政府は、厳格な原産地規則に基づき国内で十分な付加価値を生み出していると主張し、疑惑を否定している。モロッコからの輸出に制裁を科せば、同国で事業を展開するステランティスやルノーなど欧州主要自動車メーカーのサプライチェーンが混乱する恐れがあるため、EUはジレンマを抱えている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/chinas-dollar6-billion-investment-turns-africas-largest-carmaking-hub-into-ev/e9p7qx3>

(13)【アルジェリア】ナイジェリア・欧州ガスパイプラインの新区間建設を開始

アルジェリア政府は、ナイジェリアからニジェール、アルジェリアを経由して欧州へ天然ガスを輸送することを目的とした大規模エネルギー・プロジェクト「トランスサハラ・ガスパイプライン」の新区間の建設を開始した。アルジェリアのモハメド・アルカブ・エネルギー・鉱山大臣と、ナイジェリアおよびニジェールの代表者らが、内径48インチの同パイプラインの最初の溶接作業の起工式を行った。同プロジェクトは全体で130億米ドルにも及ぶ大規模なものである。

<https://www.thisdaylive.com/2026/06/09/algeria-launches-new-section-of-13bn-nigeria-europe-gas-pipeline/>

(14)【アルジェリア】リン酸塩プロジェクト稼働を来年に予定

アルジェリア政府は、来年完成予定の70億米ドル規模の「統合リン酸塩プロジェクト」を通じて同国の生産能力を4倍に拡大することを目指している。アルジェリア国営通信社(APS)によると、北東部のテベッサ県にあるブレド・エル・ハドバ鉱山で2021年に開始されたこのプロジェクトは、当初約30億米ドルの投資で開発を始めたが、その後投資額を引き上げた。

<https://www.agbi.com/mining/2026/06/algeria-announces-launch-date-for-7bn-phosphate-project/>

(15)【エジプト】ドバイのMAFグループ、エジプトで31億米ドル規模の不動産開発を計画

ドバイ最大級のコングロマリットであるマジド・アル・フツタイム・グループ(MAF)が、エジプトの国営系デベロッパーと契約を締結し、同国のニューカイロ地区で31億ドル規模の不動産プロジェクトを建設することになった。同国で地域最大級のショッピング・モールや小売ブランドを所有する同社は、約6,000戸の住宅、ホテル、商業施設を建設する契約を締結。UAE政府系企業は、ここ数年エジプト経済の立て直しに向けて数十億米ドルの投資を行っており、特に2024年に締結された地中海沿岸の観光地ラス・アル・ヘクマの開発に、350億ドルを投資する合意が注目されている。

<https://www.semafor.com/article/06/23/2026/dubais-maf-to-build-31b-new-cairo-residential-project>

(16)【エジプト】海外在住のエジプト人による送金額、9ヶ月間で約350億米ドルを達成

エジプト経済にとって最も重要な外貨収入源の一つである、海外で働くエジプト人からの送金額が目覚ましい伸びを見せ、2025年7月～2026年3月までの9ヶ月間累計で約350億米ドルに達した。これは前会計年度同期比で84億米ドル以上の増加となった。

<https://www.egyptindependent.com/remittances-from-egyptians-abroad-hit-us-34-9-billion-in-9-months/>

(17)【エジプト】ヴォルタリア社の新規風力発電プロジェクトを承認

エジプト政府は、新・再生可能エネルギー庁(NREA)が割り当てた土地において、フランスの再生可能エネルギー企業ヴォルタリア社(Voltaia, SA)が開発する869MWの風力発電プロジェクトを承認した。この合意に基づき、同社は約5,300万米ドルを投資する。

<https://renewablesnow.com/news/egypt-greenlights-voltalias-869-mw-wind-project-1296744/>

(18)【エジプト】インドの繊維メーカー、エジプトにデニム工場を建設へ

インドの繊維メーカーであるプレステージ・デニム・ミルズ(Prestige Denim Mills)は、エジプトに2,000万ドルを投じて、デニム生産施設の建設を計画している。繊維産業が同国において、伝統的に重要な地位を占めており、数多くの海外繊維投資を誘致している。これまでに中国、トルコ、韓国、ドイツ、ギリシャ、パキスタンの企業が同国のウェスト・カンタラでプロジ

ェクトを立ち上げている。

<https://africa.businessinsider.com/local/markets/indian-textile-manufacturer-to-build-dollar20-million-denim-factory-in-africas-second/51gerp1>

■その他

(19)【アフリカ・EV】アフリカのEVプラットフォーム、2.15億米ドルの株式資金を調達

アフリカにおけるEVプラットフォームであるSpiroは、アフリカ全土における電動モビリティおよびバッテリー交換インフラの展開を加速させるため、2.15億米ドルの資金調達ラウンドを実施したと発表。アフリカ輸出開発基金(FEDA)などの機関パートナーからの支援を基盤として、今回の資金調達ラウンドでは、欧州やアフリカその他の国からの資本が集まった。

<https://www.africa-newsroom.com/press/african-ev-platform-spiro-raises-215m-in-equity-to-scale-electric-mobility-and-energy-infrastructure-across-africa?lang=en>